

あんしん・あんぜん・元気なてらやつ 広報第18号

寺谷小域福祉ネットワークだより

編集・発行

発行責任者: 前川 清

問合せ先: 「なのはな館」

電話: 92-1481

寺谷小域福祉ネットワーク会長挨拶

会長 前川 清

寺谷地区にお住まいの皆様には、日ごろより「寺谷小域福祉ネットワーク」の活動に暖かいご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。私儀、この度の役員改選により、三期目(5年目)となりますが、再び会長として務めさせていただきます。どうか宜しくお願い致します。

さて、この寺谷地区は市原市の他の地区よりも少子高齢化、核家族化の比率が高いのが特徴で、一人暮らしの高齢者世帯も年々増えております。こんな環境の中、小域福祉ネットワークとして、お互い様の気持ちで「助け合い・支えあい」ができる街づくりを目指しています。

具体的な取り組みとしては、日常生活でのちょっとした困りごとをお手伝いする「日常生活支援事業(ささえあい寺谷)」や地域コミュニティの向上のため、「安心見守り活動」、「茶話会(サロン)」、「資源回収」などを企画・運営しております。しかしながら主役はあくまでもこの地区にお住まいの皆さんです。地域全体でこれらの事業に関わっていただけることが重要と考えております。どうか皆さんのお力を貸してください。

また、寺谷未来機構と協賛し、旧寺谷小学校の施設を利用して、盆踊り大会、クリスマスパーティー、ちいき食堂などを企画しております。

「豊かさよりも安心して暮らせる街」、「心のやすらぎを求める人々が集まる街」、「住んでよかった、住みたい街」こんな街づくりに貢献できたらと願う次第です。



寺谷小域福祉ネットワーク(役員・各班の紹介)

各町会・自治会

会長: 前川 清 副会長: 大鐘 豊、若林 美砂、
関根 育男 事務局長: 熊坂 竜介 会計: 今野 正一
書記: 高垣 知子 監査: 河野 武、串田 工

社会福祉協議会
(なのはな館)

資源回収推進班

班長: 大鐘 豊
《協力団体》

- *各町会
- *各自治会
- *各町会住民
- *各自治会住民
- *資源回収賛同者

子ども支援班

班長: 御簾納 正一
《協力団体》

- *子育て家庭支援員
- *青少年相談員
- *スポーツ推進員
- *各子供会の会長
- *更生保護女性会
- *市子連戸田支部

サロン支援班

班長: 大畑 廣志
《協力団体》

- *民生委員児童委員
- *老人クラブ
- *防犯協会(南総支部)
- *南総交通安全協会
- *シルバー友の会
- *身体障がい者福祉会

広報紙編集班

班長: 高垣 知子
《班員》

- *大鐘 豊 (寺谷)
- *大畑 廣志 (西国吉台)
- *御簾納 正一 (南岩崎)
- *櫛田 敏雄 (吉野台)

安心・安全支援班

班長: 重信 裕子
《安心訪問員》
2026/4/1現在
訪問員: 20名

日常生活支援事業
(ささえあい寺谷)の実績

令和6年12月にこの事業を立ち上げましたが、令和7年度は、23件のご依頼があり、それに対応いたしました。具体的な依頼内容は以下の通りでした。



	地区	件数	作業内容()は件数
1	西国吉台	15	庭の草刈り(4)、生垣の剪定(3)、電球交換(1)、庭木の伐採(5) 家具の移動(1)、雨どいの詰まり除去(1)
2	小勝山団地	4	倉庫の整理(1)、庭の草刈り(1)、家具の移動(1)、ゴミ出し(1)
3	吉野台	1	庭木の伐採(1)
4	ときわ台	1	庭の草刈り(1)
5	その他の地区	2	鳥の糞除去(1)、庭の草刈り(1)

ささえあい寺谷は、「寺谷地区の住民がお互いに支えあい、助け合う」地域共生社会の実現を目指して実施する住民参加型の有償ボランティアです。ご用命は、各地区のコーディネーター及び連絡員に相談してください。詳細は、「ささえあい寺谷」のリーフレットをご覧ください。



令和7年度決算および令和8年度の予算概要

令和7年度の事業報告・決算並びに令和8年度の事業計画・予算案が、令和8年5月23日に戸田コミュニティセンターにおいて定期総会にて承認されました。概要は次の通りです。

令和7年度 寺谷小域福祉ネットワーク会計報告	
収入の部	
項 目	金額(円)
前年度繰越金	1,623,518
地域福祉活動補助金	200,000
地域福祉支援事業	60,000
小域福祉ネットワーク助成金	13,500
小域福祉ネットワーク活動費	30,000
資源回収 収益金	447,120
資源回収 助成金	360,894
茶話会(サロン) 参加費	67,350
茶話会(サロン) 助成金	77,700
日常生活支援活動費	23,000
貯金利息、その他	3,023
立替分	50,284
合 計	2,956,389

支出の部	
項 目	金額(円)
サロン活動費	273,483
会議費(お茶等)	23,082
広報紙・チラシ 印刷代	32,566
寺谷祭り助成金	100,000
事務用品、通信費、コピー代	15,695
日常生活支援活動助成金	100,000
南総地区社協 賛助会費	5,000
子供支援	0
資源回収助成金 各町会へ助成(前期分)	335,000
資源回収助成金 各町会へ助成(後期分)	377,000
昨年度立替分精算	0
予備費	0
次期繰越金	1,694,563
合 計	2,956,389

令和8年度 寺谷小域福祉ネットワーク予算	
収入の部	
項 目	金額(円)
前年度繰越金	1,694,563
地域福祉活動補助金	200,000
地域福祉支援事業	60,000
小域福祉ネットワーク助成金	13,500
小域福祉ネットワーク活動費	30,000
資源回収 収益金	400,000
資源回収 助成金	350,000
茶話会(サロン) 参加費	50,000
茶話会(サロン) 助成金	50,000
日常生活支援活動費	25,000
貯金利息、その他	3,000
立替分	0
合 計	2,876,063

支出の部	
項 目	金額(円)
サロン活動費	280,000
会議費(お茶等)	25,000
広報紙・チラシ 印刷代	40,000
寺谷祭り助成金	100,000
事務用品、通信費、コピー代	15,000
日常生活支援活動助成金	100,000
南総地区社協 賛助会費	5,000
子供支援	20,000
資源回収助成金 各町会へ助成(前期分)	293,250
資源回収助成金 各町会へ助成(後期分)	337,350
昨年度立替分精算	50,284
予備費	200,000
次期繰越金	1,416,479
合 計	2,876,063

令和8年度 寺谷小域福祉ネットワーク事業計画

班 月	資源回収推進班 (回収日) (予備日)		子ども支援班	サロン支援班 (サロン・てらやつ)	広報紙編集班	安心・安全支援班
令和8年 4月	4/5	4/12		4/24(金) 吉野台自治会館	4/11(土) 18号 第1回編集委員会	1. 一人暮らしの高齢者が地域で孤立しないよう訪問活動などで未然に防止する。 2. 異常を発見した時に迅速に対応できる体制を確保する。 3. 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる様に地域全体で支援する。
5月	5/10	なし		5/22(金) 西国吉台集会所	5/9(土) 18号 第2回編集委員会	
6月	6/7	6/14		6/26(金) 南岩崎自治会館	6/13(土) 仕分け作業、各町会に配布	
7月	7/5	7/12		7/23(木) 小勝山団地自治会館		
8月	8/2	8/9				
9月	9/6	9/13		9/25(金) 吉野台自治会館		4. 「日常生活支援事業」をスタートさせ、「お互い様」、「向こう三軒両隣」を基本理念とし、先ずは”できる事”から始めます。 
10月	10/4	10/11		10/23(金) 南岩崎自治会館	10/10(土) 19号 第1回編集委員会	
11月	11/1	11/8		11/20(金) 西国吉台集会所	11/14(土) 19号 第2回編集委員会	
12月	12/6	12/13	12/10(木) 寺谷地区全体クリスマス会／小勝山団地自治会館	12/12(土) 仕分け作業、各町会に配布		
令和9年 1月	1/10	なし				
2月	2/7	2/14				
3月	3/7	3/14				

*資源物の収集場所は令和7年6月の回収日から旧寺谷小学校校庭となっています。

*1月は予備日はありません。

令和7年度資源回収事業報告

地域の皆様には、当事業活動にご理解とご協力をいただきお礼申し上げます。

引き続き、皆様の温かいご支援をいただきましたその活動結果を報告します。

回収重量は76トン(昨年比9トン減) 収益金76万円(昨年比10万円減)で、本年度におきましても減少傾向が続きました。

カン以外の金属では、調理器具(取っ手はそのまま) 布類では、帽子・シーツ・カーテン・毛布、ぬいぐるみ(50cm以内:透明なビニール袋に入れてください)も回収しています。

○寺谷地区の資源回収事業

資源回収の推進は、ひとり一人の行動や考え方がとても大切です。回収は一人で出来る事ではありませんので、団体の皆さんでの取り組みが必須となります。近年団体にも様々なご事情がある中でも、ボランティア、役員が戸別回収を行う等で事業の継続に取り組んで頂いています。



寺谷小学校の歩みをたどる vol.6

そうおうきゅうぎょう

挿秧休業とは何だろう

昭和26年(1951年)度の学校日誌によれば、寺谷分校では、6月12日～24日までの挿秧休業があったと記されている。また8月1日～31日の夏季休業、10月26・27日の農繁期休業があったようだ。ここでは挿秧休業について考えてみよう。

挿秧という字は、さす／さし込む／さし挟むなどの意味をもち、また秧という字は、うえる／植物をうえる／なえ／稲の苗／植物の苗などの意味をもつ。つまり挿秧は田植えのことを表している。挿秧休業は子供たちが田植えの手伝いをするために学校が休みになった、ということだ。子供が農家にとって貴重な労働力であったことがうかがえる。ただ第1・2回の挿秧休業日には1・2年生を召集とあるから、低学年の児童については田植えの間分校に登校させて面倒を見ようとする意図があったと考えられる。

日本経済が高度成長期に入った昭和35年(1960年)ごろからは、機械化の進展と相まって子供の労働力への依存率が低下したという。昭和33年(1958年)度の学校日誌には挿秧休業の記載はなく、同36年度の日誌では夏季休業が7月22日から始

まっているから、農繁休業に対する考えが変化し、学校教育法による学期及び休業日の定めが変わったのだろう。

挿秧休業日は6月12日

～24日までであったが、現代の田植えの時期はこれに比べひと月半近く早い。これは当時苗代で苗を育ててそれを手で田に植えるために大きくなるまで時間をかけたのに対して、現在は田植え機械で植えやすいように育苗箱とビニールハウスで短期間に苗を育てて植えるためであろう。また兼業農家が増え田植え作業をゴールデンウィーク頃にまとめて行う、という事情があるからかもしれない。稲刈りも8月下旬から9月中旬には行われるから、現代の稲作は昭和26年よりもかなり前倒しで行われている。地球温暖化で平均気温が上昇したせいとするのは飛躍が過ぎるだろうが気になる傾向ではある。

昭和26年度の学校日誌をひも解いて、挿秧休業という言葉が読めなかったので調べてみたら、筆者が生まれた昭和30年代の後半頃を境に寺谷分校での生活と取り巻く環境が大きく変化していったのだということが判り興味深い。(高垣 仁)



サロンてらやつ報告

サロン支援班

今回は、吉野台自治会館で行われた「サロンてらやつ」について報告します。今年初めての4月24日(金) まだ多少寒さが残る中始まりしました。昨年からスタッフの仲間入りした小勝山の2名の新人、鈴木さんと重信さんの自己紹介からスタートし、三六五歩マーチの音楽に合わせ歌と体操で身体をほぐし、次はサロンで初めての取り組み「手話」にて(ふるさと)の練習、皆さんふるって参加してくれました。大きな輪になって「しりとり遊び」、幼いころおもちゃ・お菓子・飴玉などをひもで結び、そのひもを引っ張り自分の欲しいお菓자에当たるかどうか皆さんに試して貰いました。

回覧物について・ゴミ袋・物価の値上がりについてなど、最後は身近な話で盛り上がりしました。当日は西国吉台・菅の谷台の参加者を含め23名でした。



お手伝いしてくださる方を募集中!

編集後記

令和8年度の活動計画が「寺谷小域福祉ネットワーク推進委員会定期総会」にて協議され、決定しました。私たち住民どうして互いに助け合い、支え合いながら住みよい寺谷地域をつくっていくためのプランと言えます。そして、こうした活動を成すのは、結局、人です。「よし、自分もこの地域のために何かやってみよう。」という気持ちと繋がりこそが要(かなめ)ではないでしょうか。広報紙が、私たちへの情報の提供と共に、こうした思いを共有する場となることを願っています。

(御簾納 正一)

今年もやるよ

てらやつ夏祭り

8月15日土 開催決定!

場所 旧寺谷小学校 市原市寺谷 687-1
時間 16:00～20:00 小雨決行
当日は漫画図書館もオープン!
詳細は順次お知らせします



ちいき食堂

てらやつ食堂

第1回(以降毎月第3日曜日)

6月21日(日)

食
べ
よう。
み
ん
な
で
こ
ど
も
も
お
と
な
も

本日のメニュー

場所 旧寺谷小学校

時間 11:00～

カレー

限定50食

無くなり次第終了

子ども

おとな

100円

300円

お問い合わせは 高垣まで 090-6174-5389